

2019 年度杉木明子研究会入ゼミ課題

<課題>

1. 自己紹介 (2000~4000 字程度)

氏名(ふりがな)、学部・学科、学籍番号、e-mail アドレス、出身高校を記入の上、ゼミの志望理由、これまでの大学生活で特に取り組んできたこと、ゼミで取り組みたいこと、卒業論文のテーマ、卒業後の進路、自己アピールなどを自由に記入してください。

2. レポート (3000 字以上 6000 字以内)

A 又は B のいずれかのテーマを選び、レポートを作成してください。

(A) (開発援助)

アフリカにおける貧困問題を解決するために開発援助は必要でしょうか。アフリカの貧困問題に対して日本や他のドナー(援助供与国)はどのような支援を行うべきでしょうか。下記の課題図書(必読書と a または b の計 2 冊)を読み、自分の考えを述べてください。

課題図書:

(必読書) ポール・コリアー『最底辺の 10 億人—最も貧しい国々のために本当になすべきことは何か?』日経 BP 社、2008 年

(a) ウィリアム・イースタリー『傲慢な援助』東洋経済新報社、2009 年

(b) ダンビサ・モヨ『援助じゃ、アフリカは発展しない』東洋経済新報社、2010 年

(B) (紛争解決・平和構築)

アフリカにおいて発生した内戦・民族紛争に対して国連やアフリカ域外諸国が介入し、紛争解決や平和構築に関与してきた。このような取り組みはアフリカ諸国の紛争体験国の紛争解決にどのような成果があり、どのような問題があるのかを下記の課題図書(必読書および c または d)を読み、自分の考えを論じてください。

(必読書) 篠田英朗『平和構築入門—その思想と方法を問いなおす』ちくま新書、2013 年。

(c) 落合雄彦編『アフリカの紛争解決と平和構築—シエラレオネの経験』昭和堂、2011 年

(d) 五十嵐元道『支配する人道主義—植民地統治から平和構築まで』岩波書店、2016 年

<提出課題の書式>

*A4 サイズ、1 頁あたり横 40 字×縦 30 行、横書き設定の上、ワードで作成して下さい。

*1 と 2 の課題はそれぞれ別の文書ファイルとして作成し、ファイル名と氏名を記入して保存してください。

*2 の課題に関しては、どちらのテーマ(A または B)を選択したか、および氏名、学籍番号、所属学部・学科を必ず記入してください。

<提出方法・締切>

*締切: 2019 年 1 月 20 日 23:59 まで(厳守してください)

*1. 2 の課題をメールに添付して、下記の送付先へ送ってください。(万が一のため 2 つの送付先に同時に送信してください)

*送付先: asugiki@keio.jp

africaseminar2018@gmail.com

メールを受信してから 72 時間以内に受信確認のメールを返信します。送信して 72 時間経過後も返信が届かない場合は Twitter の@AFRseminar2018 までダイレクト・メッセージを送ってください。

<その他>

*選考方法: 提出された課題及び統一選考日(2 月 4 日)の個別面接をもとに決定します。

*不明な点・質問がある場合も上記のメールアドレスへ連絡してください。

*当研究会は、本ゼミを火曜日 3・4 限、サブ・ゼミを火曜日 5 限に行います。